

財団法人 秋田県総合保健事業団

NO.54
2012年

けんこう AKITA

INDEX

【特 集】 「レジオネラ属菌とレジオネラ症など」について

【情報提供】 健（検）診データ「各種健（検）診実施状況」

【キャンペーン情報】 「がん検診受診率50%に向けた集中キャンペーン月間」

【イベント情報】 「県民こぞってがん検診」イベント報告・予定

【運動情報】 連載「ウォーキングの効果」

【けんしんTOPICS】 「健診(検診)をうけましょう」

【INFORMATION】 ドック健診事業と各健診・検査センターの案内



「レジオネラ属菌とレジオネラ症など」について

児桜検査センター 環境検査分析課

<はじめに>

レジオネラ症は、レジオネラ属菌を病原体として発症する細菌感染症の一つです。日本国内では、循環式入浴施設、公衆浴場および老人福祉施設などにおいてレジオネラ属菌を原因としたレジオネラ症集団発生事例がこれまで報告されております。このようなことから国や各自治体などでは、各施設におけるレジオネラ症発生予防対策に取り組んでいます。

また、レジオネラ属菌に関する報告の中には、一般家庭の浴槽水からの検出もみられております。このように私たちの日常生活に身近な細菌でありますレジオネラ属菌とレジオネラ症などについて紹介します。

<自然界における生息場所について>

レジオネラ属菌は、河川、湖沼および土壌などの自然環境中に生息しています。

<感染源について>

レジオネラ属菌は土ぼこりに混じって空中に飛散します。このことから、風向きなどによっては冷却塔や露天風呂などにレジオネラ属菌が入り、それらが汚染されることがあります。また、その土ぼこりが体表などに付着した人が循環式浴槽、温泉、露天風呂および一般家庭浴槽などに入浴した場合には同様に汚染されることがあります。それらの汚染された箇所にアカントアメーバ^{*1}などが生息している場合には、レジオネラ属菌がそのアメーバに取り込まれ、その中で増殖することによってアメーバは死んでしまいます。その死んだアメーバからは大量のレジオネラ属菌が放出されることによって、それらの汚染箇所は感染源となります。

また、これらの汚染箇所の内壁面には他の細菌も付着しており、これらの細菌から産生された粘液性物質などによって付着箇所などにバイオフィルム(生物膜)が形成されます。

このバイオフィルムには、アメーバやレジオネラ属菌および他の細菌などが生息しておりますが、レジオネラ属菌はこのバイオフィルム内に生息するアメーバ内に取り込まれたりしています。このようにレジオネラ属菌がバイオフィルムの中で保護されている状態で、レジオネラ属菌に対する消毒などを行った場合には、消毒薬が十分に浸透できないなどの点からその消毒効果は期待できないことになり、これらの箇所はレジオネラ属菌の持続的な感染源となります。

※1 アカントアメーバ：土壌や環境水中などに広く生息し、通常はアメーバ状の栄養型の形態をとっていますが、生息している環境が乾燥などにより悪化するとアメーバは二重壁を持つ嚢子型(シスト)となります。このシストは乾燥には非常に強いなどの特徴があり、生活空間にも広く浮遊していることが調査により確認されています。

<大きさについて>

レジオネラ属菌の大きさは、幅が0.3~0.7マイクロメートル^{*2}で、長さが2~5マイクロメートルの短桿菌です。

※2 マイクロメートル：1mmの1千分の1

<レジオネラ症について>

レジオネラ属菌に汚染された循環式浴槽、温泉、露天風呂および冷却塔などから発生したエアロゾル(微小水滴)を人が吸引することによって感染することがあります。レジオネラ症には二つの病型があります。レジオネラ肺炎では、2~10日の潜伏期を経て全身倦怠、頭痛、食欲不振、筋肉痛、高熱、意識障害および下痢などがみられます。ポンティアック熱では、1~2日の潜伏期を経て発熱、寒気および筋肉痛などがみられます。また、レジオネラ症は人から人への感染はありません。感染症新法^{*3}では、レジオネラ症は4類感染症になっています。

このことから、レジオネラ症と診断した医師は最寄りの保健所に直ちに届け出をしなければならぬことになっております。

※3 感染症新法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

<検水の培養検査について>

浴槽水、温泉水、冷却塔水およびプール水などの検水を用いたレジオネラ属菌の培養検査では、検水200mLを入れたボトルを冷却遠心機を用いて6000回転30分間の遠心を行います。遠心終了後にボトルの上清を捨て、その沈渣に滅菌蒸留水1mLを加えてよく混和し、さらにそれに酸処理液1mLを加えて混和後、室温に10分間放置し処理を行います。その酸処理が終わった液0.1mLをレジオネラ属菌の選択培地へ塗抹し、36℃のふ卵器に入れて7日間の培養を行い、その培地に形成された特徴的なレジオネラ属菌集落の観察などを行い確定しております。

<H21年度とH22年度の検査結果について>

表1は、平成21年度と平成22年度に当センターで秋田県内各施設（温泉施設、ホテル・旅館など、介護・老人福祉関係施設など、障害関係施設、医療施設など、プール施設、冷却塔など）から依頼を受けて実施しましたレジオネラ属菌検査結果の陽性率を示しました。

これらの各施設では、原湯、原水、上がり用湯、上がり用水、浴槽水、露天風呂、ジャ

グジー、打たせ湯、循環式浴槽、貯湯槽、サウナ、配管および冷却塔などからレジオネラ属菌が検出されました。各施設では、これらの検査で得られたレジオネラ属菌の検出箇所を参考に、衛生管理対策を徹底して行うことがレジオネラ症感染予防対策として大変重要であると思われます。

また、これらの検査結果では、秋田県内の全地域から季節および各施設などに関係なくレジオネラ属菌が検出されることが確認されましたので、各施設ではこれらを踏まえたレジオネラ症感染予防対策を徹底して行うことが今後とも重要と思われます。

<衛生管理対策について>

レジオネラ症の発生予防対策のためには、レジオネラ属菌の増殖を抑制することが重要です。このようなことから、レジオネラ属菌の衛生管理対策としては次の処置などを行うことがレジオネラ症感染予防対策に大変重要です。

- ①細菌の増殖およびバイオフィームなどの生成の抑制
- ②各施設の汚染箇所に定着するバイオフィームなどの除去
- ③エアロゾルの飛散の抑制
- ④定期的なレジオネラ属菌の検査の実施

各施設では、これらのレジオネラ属菌に対する衛生管理対策を徹底して行うことによって、レジオネラ属菌の汚染箇所の改善が図られております。

**表1. 秋田県内の各施設におけるレジオネラ属菌の陽性率について
(平成21年度・平成22年度検査依頼分)**

各施設	施設数	陽性率 (%)
温泉施設	89	11.5
ホテル・旅館など	70	11.4
介護・老人福祉関係施設など	190	4.9
障害関係施設	21	0.9
医療施設など	40	7.1
プール施設	15	0.0
冷却塔など	51	13.9

陽性：10集落数/100ml 以上

健(検)診データ「各種健(検)診実施状況」

総務部 経営企画課

秋田県総合保健事業団における平成23年度「各種健(検)診」の実施状況

平成23年度の当事業団における「各種健(検)診」の実施状況について、前年度（平成22年度）の実施状況と比較し、掲載します。

・特定健康診査

「特定健診」（地域:市町村）の受診者数は、H23年度に35,893人、H22年度に36,485人を実施し、592人減少しています。

健診結果の「メタボリック判定」では、「予備群該当者」は、H23年度が3,601（10.0%）、H22年度が3,658人（10.0%）となっています。また、「基準該当者」は、H23年度が6,118人（17.0%）、H22年度が6,286人（17.2%）となっています。（表1）

表1. 秋田県総合保健事業団における「特定健診」実施状況

区分	特定健診(地域：市町村)	メタボリック判定	
	受診者数(人)	予備群該当者(人)	基準該当者(人)
H22年度	36,485	3,658 (10.0%)	6,286 (17.2%)
H23年度	35,893	3,601 (10.0%)	6,118 (17.0%)

次に、各種がん検診の実施状況です。（表2、図1）

秋田県のがん粗死亡率は、15年連続で全国ワースト1、また、3人に1人はがんで亡くなるという現状であり、一人でも多くの方にがん検診を受診していただき、予防や早期発見につなげてもらえればと思います。

・胃がん検診

受診者数は、H23年度に48,016人、H22年度に44,829人を実施し、3,187人増加しています。

・子宮がん検診

受診者数は、H23年度に21,380人、H22年度に21,008人を実施し、372人増加しています。

・乳がん検診

受診者数は、[MMGと視触診併用健診]がH23年度に15,844人、H22年度に15,146人を実施し、698人増加しています。

・肺がん検診

受診者数は、[胸部X線]がH23年度に57,838人、H22年度が58,115人を実施し、277人減少しています。また、[喀痰細胞診：問診での対象者]の受診者数は、H23年度が3,213人、H22年度が3,515人を実施し、302人減少しています。

・大腸がん検診

受診者数は、H23年度に65,248人、H22年度に58,121人を実施し、7,127人増加しています。

・前立腺がん検診

受診者数は、H23年度に23,428人、H22年度に21,830人を実施し、1,598人増加しています。

表2. 秋田県総合保健事業団における各種「がん検診」の実施状況

検診種別	H22年度				H23年度				増減			
	計	地域 (市町村)	職域 (事業所)	医療機関 (対象:地域)	計	地域 (市町村)	職域 (事業所)	医療機関 (対象:地域)	計	地域 (市町村)	職域 (事業所)	医療機関 (対象:地域)
胃がん	44,829	22,018	22,811	—	48,016	23,970	24,046	—	3,187	1,952	1,235	—
子宮がん	21,008	6,672	1,629	12,707	21,380	7,442	1,818	12,120	372	770	189	△587
乳がん	15,146	9,171	1,402	4,573	15,844	10,119	1,603	4,122	698	948	201	△451
肺がん	58,115	55,679	2,436	—	57,838	55,365	2,473	—	△277	△314	37	—
喀痰細胞診	3,515	3,003	512	—	3,213	2,544	669	—	△302	△459	157	—
大腸がん	58,121	42,751	3,723	11,647	65,248	47,746	2,825	14,677	7,127	4,995	△898	3,030
前立腺がん	21,830	20,396	1,434	—	23,428	21,831	1,597	—	1,598	1,435	163	—

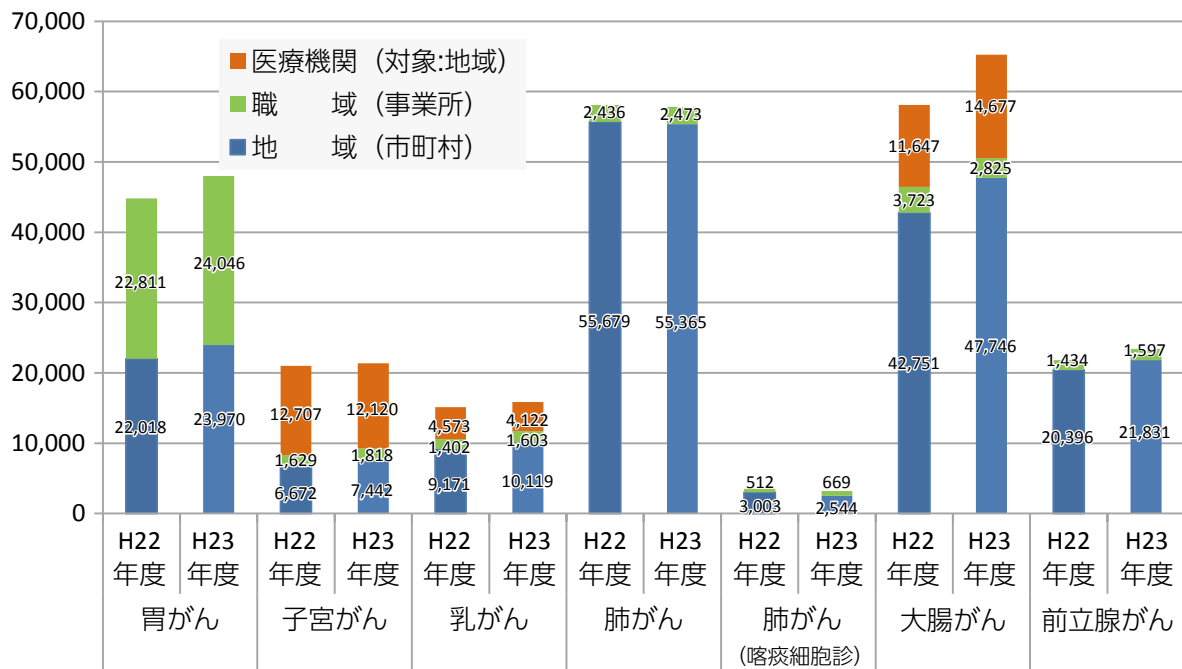


図1. 秋田県総合保健事業団における各種「がん検診」の実施状況

10月は『がん検診受診率50%に向けた集中キャンペーン月間』です

「がん検診 愛する家族への 贈りもの」



国や県などは、10月の1ヶ月間を「がん検診受診率50%に向けた集中キャンペーン月間」とし、がんの早期発見・早期治療の重要性など、みなさまに「がん検診」や「受診」への関心や意識を高めるためのキャンペーンをすすめていきます。

当事業団でも、各種イベントやがん検診推進運動事業の中で、普及啓発活動を行います。



県民こそってがん検診

がん検診推進員が、県内の様々な地域イベントに参加して、がん検診受診のPR活動を行っています。

今後もたくさんのイベントに参加したり、「ミニがん講座」などで、がん検診の普及啓発活動を実施します!!



イベント参加活動報告

- ・ 6月9日(土)「アカシヤまつり」(小坂町)
- ・ 6月10日(日)「たけのご祭り」(大館市)
「小町まつり」(湯沢市)
- ・ 6月16日(土)・7月21日(土)・8月18日(土)
「いきいき健康フェア」(中通病院主催・秋田市民市場)
- ・ 6月24日(日)「ラベンダー祭り」(八峰町)
- ・ 7月1日(日)「ラベンダーまつり」(美郷町)
- ・ 7月8日(日)「あやめまつり」(横手市)
- ・ 7月15日(日)「能代港まつり」(能代市)
- ・ 7月21日(土)「男鹿市民健康フェスタ」(男鹿市)
- ・ 7月28日(土)「東成瀬納涼まつり」(東成瀬村)
- ・ 7月28・29日(土・日)
「すこやかあきた」(秋田市県立武道館)
- ・ 7月29日(日)「サドクラフタ2012inみたね」(三種町)
「とんびマイタケまつり」(仙北市)
「農業科学館まつり」(大仙市同館)
- ・ 8月4日(土)「秋田市竿灯まつり」パレード(秋田市)
- ・ 8月7日(火)「湯沢七夕健康マラソン大会」(湯沢市)
- ・ 8月15日(水)「きやどっこ祭り」(五城目町)
- ・ 8月16日(木)「ドンパン祭り」(大仙市)
- ・ 8月25日(土)「岩城ふれあい港まつり」(由利本荘市)
- ・ 8月26日(日)「天王グリーンランド祭り」(湯上市)
- ・ 9月15日(土)「のしろ健康21健康展」(能代市)
- ・ 9月16日(日)「元気フェスタ」(鹿角市)
「田沢湖マラソン」(仙北市)
- ・ 9月23日(日)「空の日祭り」(秋田市秋田空港)



イベント参加活動予定

- ・ 10月7日(日)「ピンクリボンキャンペーン」(秋田市ALVE)
「新米まつり」(大潟村)
「北部エリアボランティアフェスティバル」(大館市)
- ・ 10月8日(月)「健康のつどい」(秋田市八橋)
- ・ 10月14日(日)「楽しく知ってがん予防」(イオンモール秋田)
- ・ 10月20日(土)「レントゲン祭」(秋田市ALVE)
「藤里町民祭」(藤里町)・「羽後町健康祭」(羽後町)
- ・ 10月20日(土)・11月17日(土)・12月15日(土)
「いきいき健康フェア」(中通病院主催・秋田市民市場)
- ・ 10月20日(土)・21日(日)
「食の国秋田県民フェスティバル」(秋田市アグラ広場)
- ・ 10月21日(日)「上小阿仁村産業祭」(上小阿仁村)
- ・ 10月27日(土)「産業祭」(大館市)・「文化祭健康展」(男鹿市)
- ・ 10月27日(土)・28日(日)「美郷フェスタ」(美郷町)

ミニがん講座

町内会、サークル等の集まりや勉強会、職場の研修などに出向き、30分程の講座を無料で行い、がんに関する知識の普及、検診受診の重要性についてお話します。お問合せは、8ページに掲載のがん検診推進員連絡先まで。



運動で健康づくり

★ウォーキングの効果★

これからウォーキングを始めようと思っている方、すでにウォーキングを生活に取り入れている方、ウォーキングの効果をご存知ですか？全身の筋肉の約2/3を足の筋肉が占めています。ウォーキングをすることによって、足の筋肉が刺激され、全身の組織が活性化されるといわれています。

○生活習慣病予防

- ・血圧が安定し、高血圧を抑えます。
- ・善玉コレステロールが増加し、動脈硬化や心臓病を予防します。
- ・エネルギー燃焼効果があるので、体重、体脂肪のコントロールができます。
- ・心肺機能が高まり、酸素や栄養の循環がよくなります。
- ・血液循環がよくなることで、酸素が末端まで供給され細胞組織が活性化されると、全身組織に分布する毛細血管が活発に働き、血液サラサラ動脈硬化の予防につながります。

○老化防止

多くの酸素が脳へいきわたり、その刺激により脳細胞が活性化し、老化を遅らせ若さを持続させるといわれています。

○ストレス解消

足の裏を刺激することで自律神経のバランスを整えたり、遊歩道や公園など屋外を歩くことで気分転換になり、リフレッシュ効果が得られます。

○筋力向上

足腰の筋力向上はもちろん、骨にも刺激が加わり、骨の強化になります。

誰にでも無理なく自分のペースで続けられるウォーキング、今より10分長く歩くことから挑戦してみたいはいかがですか？

☆息がはずむくらいのペースで！

☆こまめな水分補給を！

☆足に合った靴で！

☆食後、空腹時は避けて！

けんしんTOPICS

☆健診(検診)を受けましょう☆

みなさん、健康診断・がん検診を受けていますか？

秋田県は、がん死亡率などでワースト1位となっておりますが、早期発見、治療が何より大事なことです。

中には、受診して要精密検査の結果がきても、そのまましておく方がいらっしゃいますが、せっかくのチャンスを逃していることとなります。

病院で詳しく検査をして疾病が発見される方、異常がない方どちらの方もおります。とても不安になると思いますが、勇気をだして病院で詳しく検査してみましょう。

会社で受診する機会がある方、自分がお住まいの市町村で実施している特定健診・がん検診等、ご自分が受診できる健康診断をぜひ利用して受診してみてください。

秋田県 1位 (全国ランキング)

- 脳梗塞死亡者数 : 男性
- 脳梗塞死亡者数 : 女性
- 胃がん死亡者数 : 男性
- 胃がん死亡者数 : 女性
- 大腸がん死亡者数 : 男性
- 卵巣がん死亡者数

…おまけ 秋田県全国1位

- ・全国学力テスト ・持ち家率
 - ・美容師、美容室数 ・豚肉消費量
- ワースト1位は…
- ・年間晴れ日数・日照時間
 - ・婚姻件数・子供の数
 - ・麻酔科医師比率

秋田県総合保健センター 人間ドック



積極的な健康づくりのお手伝いをさせていただくため
精度の高い総合的な健康診断を行っております。

生活習慣病をはじめ各種病気の早期発見や健康度を知る
など、皆様の健康管理に役立てて頂きたいと願っております。

日本人間ドック学会機能評価認定施設



秋田県総合保健センター人間ドックは個人でも受診をお申しいただけます。生活習慣病などが気になり始めたら、お気軽にご相談ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】



秋田県総合保健センター
ドック健診課
〒010-0874
秋田市千秋久保田町6-6
電話代表 018-831-2013
F A X 018-831-2014
受付時間 8:30~17:15
(土日祝日休み)

〈インターネット予約〉
<http://www.kenko-akita.jp/>

秋田県総合保健センター案内図



秋田県総合保健センター

〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
電話代表 018-831-2011
F A X 018-831-1663

保健・情報管理部ドック健診課

電話代表 018-831-2013
F A X 018-831-2014

がん検診推進員

電 話 080-1662-1369・1370

県南健診センター

〒019-1234 仙北郡美郷町飯詰字北中島35-1
電 話 0187-84-3811
F A X 0187-83-2115

がん検診推進員

電 話 080-1662-1371

県北健診センター

〒018-3333 北秋田市坊沢字横道沢23-2
電 話 0186-63-1837
F A X 0186-63-0929

がん検診推進員

電 話 080-1662-1368

県北健診センター大館支所

〒017-0864 大館市根下戸新町1-8
電 話 0186-42-9770
F A X 0186-42-9771

児桜検査センター

〒011-0909 秋田市寺内児桜3-1-24
電 話 018-845-5100
F A X 018-845-9255



「健康あきた」第54号 平成24年9月発行

発行 財団法人 秋田県総合保健事業団
編集 総務部経営企画課 「健康あきた」編集委員会
〒010-0874 秋田市千秋久保田町6番6号
☎018-831-2011
印刷所 株式会社三森印刷